

倫理

第4問 問4 「28」

思想家の考え方を事例にあてはめて考察する問題で、各学力層で差がついた

問4 下線部③に関して、次の資料は、授業で情報社会の進展について考察するために配付されたものであり、後のア～ウは、下線部③と④のいずれかにあてはまる事例である。資料の趣旨を踏まえて、ア～ウの事例のうちから③にあてはまるものすべてを選んで、その組合せとして最も適切なものを、後の①～④のうちから一つ選べ。 [28]

資料

●マス・メディアの発達について

リップマンの考え方

人間は、それまでのイメージの蓄積によって物事を単純化・固定化したイメージでとらえてしまう。これが③ステレオタイプである。マス・メディアの発達は、このようなステレオタイプの形成に拍車をかけるだろう。

ブーアスティンの考え方

マス・メディアが提供するイメージは、意図的に報道のために製造された④擬似イベントであり、それは現実の出来事より受け手に劇的な印象を与える。

事例

ア あらかじめ演出がされていない立会演説会や、候補者が個々に用意してきた原稿の演説を視聴するよりも、司会者が候補者どうしを対立させて討論が白熱する方が、視聴者はその候補者のイメージをつかみやすいことがある。

イ ある特定の国の国民や人種についての報道を見ることで、その国や人種の性格や行動の特徴などにおける、現実よりも統一的で画一的なイメージを頭のなかで持ってしまう、よりそのイメージが知識として定着しやすくなることもある。

ウ あるバラードを現実に見ることよりも、そのバラードの意図や参加者の情報、また見どころをピックアップして編集し演出された報道番組を見た方がそのバラードの興奮を味わいやすいことがある。

- ① ア ② イ ③ ウ ④ アとイ
⑤ アとウ ⑥ イとウ ⑦ アとイとウ ⑧ なし

結果分析

「ステレオタイプ」と「擬似イベント」についての内容を読み取り、その考え方をほかの事例にあてはめて考察する問題で、全体的に得点率は高かったですが、各学力層で差がつかしました。

「ステレオタイプ」や「擬似イベント」についての内容を読み取り、また、その考え方を日常の具体的な事例に落とし込んで考察できたかが問われ、各学力層で差がついたと考えられます。

指導のご提案

「ステレオタイプ」と「擬似イベント」などの内容を整理して自分のなかに落とし込めており、かつそれを具体的な事例に置き換えて考察できたかが今回の問題の重要なポイントです。まず、思想内容については、重要語句における抽象的な概念を具体的に自分の言葉で正確に説明できるようにしておきたいです。

さらに、共通テストでは、多彩な資料から読解力や多面的・論理的に考察する力などが求められます。これからの2か月あまりで、共通テスト形式の問題演習を通して読解力を養うとともに、今まで学習した知識を活用して多面的・論理的に考察する姿勢を確立することができれば、本番までの学習の効果を高めることができるでしょう。

[実戦形式の類題演習のご提案ページへ](#)

第4問 問4 「28」

正解率	62.4%
SS70~75	93.3%
SS65~70	90.1%
SS60~65	85.6%
SS55~60	82.2%
SS50~55	75.0%

2023年度第1回ベネッセ・駿台
大学入学共通テスト模試
「倫理」

受験者数: 11,356人
平均点: 48.9点
標準偏差: 15.8